

# 市民が親しみと誇りを感じる海辺であってほしい

機能性とデザイン性を兼ね備えた景観が求められる東部地区。

回遊性を持たせた港づくりが必要な都心部地区。

海をより身近に感じとれる提案型の

情報発信が期待される西部地区。

海や港がもっと市民に親しみのある場所になってほしい。

博多湾水際ウォッチングに参加し、

そんな気持ちを持ったメンバーたちが

さまざまな課題をあげてくれた。



永井 田からウロコが落ちましたよ。福岡ってこんなに海が近かつたんですね。これまで福岡を港町だと認識していた人がどのくらいいたでしょう。博多港は九州の経済エネルギー、生活を支える重要な拠点として大いに活躍しているにもかかわらず、「港」としての印象は市民に薄いような気がします。福岡は陸路も空路も便利がよく、天神・博多という都心部を中心と発展しているので、神戸や横浜のように港を中心に「まち」を意識するという習性がないかもしませんね。

長谷川 でも今回のようすに海を通して福岡を見なおすと、港がどんなに私たちの生活に密着し、重要なのかということに気づかされます。

出口 博多湾って、琵琶湖よりも小さい面積の中にさまざまな機能が集積しているわけです。だからバラエティに富んだ景観が結集していますよね。博多湾は大きいつつのゾーンに分かれています。まず、香椎パークポートに代表される物流施設。海から見るとこれが九州の産業のかなめであることがよくわかります。そして都心部に近い博多・中央ふ頭。福岡の玄関口として人々の交流が活発ですよね。3番目は海辺都市をつくり上げているシーサイドや右周辺。これはやっぱり福岡のシンボル的な景観だなと感じます。

段原 香椎パークポートは物流拠点として大きいと活躍していますけど、機能性を重視するため景観的には味気ないものになりがちな部分も多くないです

か。

出口 そうですね。今後は倉庫やコン

テナなど機能性とデザイン性を兼ね備えたものも求められるのではないかでしょうか。

長谷川 東部地区は、現在埋め立てが進められているアイランドシティの完成によつてまた大きく表情を変えるんでしょうね。

出口 都心部に近い博多・中央ふ頭ですが、国際ターミナル、マリンメッセ、ペイサイドフレイスなど個々の施設が結びつききっかけづくりが必要だと思っています。

長谷川 ええ。そのためにはハード面だけでなく、回遊性を持たせるためのソフト展開が大切だと思います。ここは博多港の中心として人々の動きのある景観が期待できる場所ですしね。

出口 皆さん意見を聞いていくと、

他の人にも海から福岡のまちを見せたいと感じているようですね。開港100周年に限らずこれからも海や港に親しみが持てるような機会を市民に作つてほしい。21世紀に向けて博多港のマスタープランをおむり一度見直し、シーサイドももとのまちづくりで産業界と行政が連携したよいし、今度は市民をプラスしてアランを考えてもらわなければ。景観は誰のためのものか。海辺がもつと市民に開放された場所になることを望んでいますし、そつならない

などの働きかけが必要ですね。

川橋 新しいモノをつくると、海が近いことを多くの人に知つてもうつります。

とが大事だと思います。

長谷川 ええ、海や港のイメージをどう植え付けるかという問題を考えると、いきなりハコモノをつくるといつ

方策は解決にはつながらないでしょ

う。市民の意識づくのための参加型

イベントなどが先でしそうね。これが

らアイランドシティもできますけど、

博多湾のことわざやんと語り合つ場をつくつてはどうかといふ気がしていま

す。

段原 行政・市民・建築家の意見交換が必要ですよ。行政のつくる開発計画が市民によく知られていないからです。市民の意識と行政のやることに食い違があるように感じられます。もつといふんな意見を交わしたいですね。



川橋 シーサイドももちろんはなかなか足を運ぶことはないんですが、こうして海から望むと、あらためて福岡を代表する景観だなあつて感じます。

長谷川 ただ、シーサイドももとのまち周辺の住民からの親近感はあるものの、他の地域の人々が気軽に立ち寄れる場所としての機能に少し欠けていますよね。人が気軽に集い憩うためのしくみ

づくりや海を楽しむ提案型の情報発信